

保護者の皆さんへ

毎年、海水浴や魚釣りなどのマリレジャーを実施中に、多くの方が事故に遭っています。それらの事故に、児童が巻き込まれ、死に至るケースも少なくありません。

海の危険を知り、適切な安全対策をとることで、事故を回避できる可能性が高まります。大切な児童の命を守るため、海で遊ぶ際には、中面に記載した事項のほか、以下の事項についても、注意をお願いします。

もしも、海で溺れたら

落ち着いて

慌てず落ち着いて、無理に泳がない。

浮いて待つ

浮体につかまり「浮いて」助けを待とう。

脱がない

服や靴は浮力になります。

もしも、海で溺れている人を見つけたら

- ひとりで助けにいかず、周囲の大人に、知らせる。
- 浮くもの(ペットボトル・クーラーボックスなど)を見つけて投げる。
- 長い棒(釣り竿・タモなど)やロープを差し出し引き寄せる。

自己救命索の「3つの基本」



ライフジャケットの常時着用



連絡手段の確保



118番へ救助要請



第十管区海上保安本部

海で楽しく遊ぶための安全ガイド



海の危険を知ろう!!

毎年、海では、海水浴や魚釣りなどのマリレジャーを実施中に、多くの方が事故に遭っています。特に夏季は事故が急増します。本冊子では、皆さんが海で遊ぶときに、特に注意してほしいことをまとめています。海で楽しく安全に遊ぶために活用してください。

第十管区海上保安本部

JAPAN COAST GUARD

離岸流に気をつけよう

離岸流とは

海岸で発生する、沖へ向かう強い流れを「離岸流」といいます。離岸流に巻き込まれると、沖に流されてしまい大変危険です。

離岸流に流されてしまったら・・・

- 1 まずは落ち着く!
- 2 無理に海岸に向かって泳がない!
- 3 海岸と平行に泳ぎ離岸流から脱出する!
- 4 脱出できたら、海岸に向かって泳ぐ!



高波に気をつけよう

波打ち際で遊んでいる人や磯場の釣り人が、高波にさらわれ、溺れる事故が多く発生しています。波が高いときは、海で遊ぶのをやめましょう。



深みに気をつけよう

なだらかに見える砂浜でも海の中は急に深くなっている場所が沢山あります。海で泳ぐ際は、自治体が管理している海水浴場を利用しましょう。



魚釣り中の落水に気をつけよう

- 子供だけで行かない!
- 波が高いときは行かない!
- 立入が禁止された場所に入らない!
- 落水に備えて、ハシゴや階段など上がる場所を確認する!
- ライフジャケットを必ず着けよう!

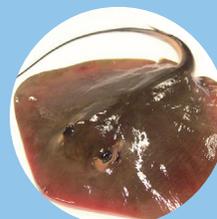


ライフジャケットを必ず着けよう!

危険な生き物に気をつけよう

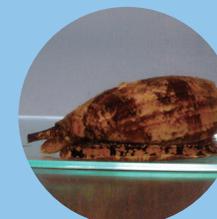
画像提供/いおワールドかごしま水族館

写真は、毒を持った危険な生物です。見かけた際は、近寄らず絶対に触らないようにしましょう。



アカエイ

尻尾に鋭い毒棘を持ち、刺されると死に至るケースもあります。



イモガイ(アンボイナ貝)

猛毒の毒針を持ち、刺されると死に至るケースもあります。



ヒョウモンダコ

解毒剤のない猛毒を持ち、咬まれると死に至るケースもあります。



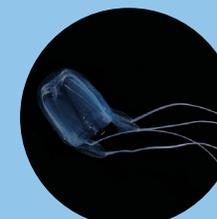
アカクラゲ

触手の刺胞毒は強く、刺されると激しい痛みが生じます。



ミノカサゴ

各ひれのトゲに毒があり、刺されると激しい痛みが生じます。



アンドククラゲ

触手の刺胞毒は強く、刺されると激しい痛みが生じます。

その他、海で遊ぶときの注意事項

海に行く前に

- 子供だけで海に遊びに行かない!
- 海水浴場以外では泳がない!
- 天気予報をしっかりと確認!
- ライフジャケットを準備!

海に着いたら

- ライフジャケットを必ず着用!
- 波が高いときや風が強いときは、海に入らない!
- 複数人で行動しよう!